



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2019年8月30日 No.119

自己都合退職が無くなる会社をめざそう！ 「人材確保と技術継承に関する申し入れ」を提出

少子化や生産年齢人口の減少などの社会環境の変化は、年金問題や医療、福祉、教育など、あらゆる分野で日本社会全体の大きな課題として存在しており、同時にJR東日本会社にとっても収益面だけでなく、将来にわたって持続的に成長し、さらに発展させていくために必要な人材の確保にも大きな影響を与えています。



さらに、若い世代を中心に「離職率」が高まっている社会情勢の変化は、鉄道業としての特殊性や専門性を持ち、経験や技術力を要する職種が多く存在しているJR東日本会社にとっても大きな課題であると言えます。

当社は新卒採用をはじめ社会人採用など、毎年1,800名規模での採用を確保していますが、現場では若手社員を含めた自己都合退職による要員不足や急激な世代交代によって技術継承が進まない現状など、人材確保や技術継承に関する声が東日本ユニオンにも多く寄せられています。

将来にわたって、私たち社員一人ひとりが安心と信念、未来像を持って働くことができ、全社員をあげて経営を支え、JR東日本の持続的成長と発展を追求していく視点から、8月28日に申第3号「人材確保と技術継承に関する申し入れ」を経営側に提出しました。

1. 人材確保、技術継承に対する考え方及び離職を防止するための施策等を明らかにすること。
2. 過去5年間の自己都合退職者数を明らかにすること。

**私たち東日本ユニオンは
労使で問題意識を共有し、会社の発展にむけて
労働組合の立場から議論・提言していきます！**